

長年にわたって、県内で社会奉仕や環境美化活動に取り組んでいる人たちをたたえる第122回「熊日緑のリボン賞」の受賞者に7団体・2個人が決まった。

表彰は年2回。2020年度後期の今回は、20年6月～11月の本紙掲載記事から選んだ。原則として、10年以上の実績のある活動を対象にした。

熊日緑のリボン賞は1959年に創設。第1回からの受賞者は計476団体、1008個人となった。贈呈式は16日午後2時から、熊本市中央区世安町の熊日本社である。

ネット上の有害情報などを監視しているサイバー防犯ボランティア「KC3」の大学生たち

熊本市中央区



KC3 (熊本市)

ネット上の有害情報 監視

サイバー防犯ボランティア「KC3」は、県内の大学生が、インターネット上の有害情報の発見などに取り組んでいる。2011年に発足し、現在は熊本学園大、県立大、崇城大、東海大の51人。

熊本地震では、「熊本市動物園からライオンが逃げた」などのデマ情報が相次いだため、パトロールを強化して注目を集めた。その後、災害発生の際に監視し続けている。

児童ポルノにも目を光らせる。学生たちが見つけた情報を県警に報告し、容疑者の摘発につながったケースも。熊本学園大4年の那須裕斗代表(22)は「コロナ禍も地道に続けてきた。犯罪防止の役に立ちたい」と話している。

(藤山裕作)